

報道関係者各位

ご案内

**当事者の現状を社会に届けるために、2016 年も活動します！**  
**厚生労働省の調査研究『男性不妊についてのアンケート』を実施！**  
**書籍『不妊治療のやめどき』(Fine 理事長・松本亜樹子著)を出版**

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン) <http://j-fine.jp/>

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、不妊体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、不妊治療環境向上のためにさまざまな活動を行なっています。多くの方々が不妊治療及び不妊について関心を持っていただけるように、ぜひ、貴媒体にて取り上げていただけましたら幸いです。

◆**男性不妊特有の悩みの実態を探るアンケートを実施 (1/15~2/14)**

Fine では、2016 年 1 月 15 日より、不妊体験者を対象とする「知っていますか？ 男性の不妊治療～男性に対する不妊の検査・治療についての Web アンケート～」を実施します。

これは、厚生労働省 平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「我が国における男性不妊に対する検査・治療に関する調査研究」の一環として不妊治療経験者の実態を調べるもの。本調査研究では、泌尿器科医・産婦人科医・看護職など多角的な調査が行なわれますが、Fine は不妊当事者団体「フィンレージの会」とともに不妊体験者の調査を担当。男性不妊の検査・治療の現状や、どのようなサポートが望まれているかなどをリサーチします。また、本 Web アンケートでは、男性不妊治療の最新情報についても紹介、社会への不妊治療の啓発に努めます。

※研究責任者・湯村 寧先生 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 生殖医療センター 部長 泌尿器科)

■アンケート URL → <http://danseihunin.index.ne.jp> (実施期間：2016 年 1 月 15 日～2 月 14 日)

■設問の一部

Q：精液検査を受けたタイミングは？ (女性の検査より先に・女性の検査と同時期に・女性の検査が終わってから)

Q：精液検査の結果は、どのような形で聞きましたか？ (カップル揃って・女性のみ・男性のみ)

Q：精子の状態にはばらつきがあり、1 回の検査のみで判断しないことが大切です。そのことを知っていますか？

◆『**不妊治療のやめどき**』を出版！ 夫婦・家族のさまざまな「**幸せのかたち**」のヒントに

Fine 理事長・松本亜樹子が『不妊治療のやめどき』(WAVE 出版、本体 1400 円+税)を出版しました。

晩婚化で結婚したときにはすでに妊娠しにくい年齢になっていることも多い昨今、高度な不妊治療をしても妊娠・出産がかなわないカップルは少なくありません。妊娠・出産の望みが薄いとわかっているにもかかわらず治療をやめることができないケースも多く、治療の終結は大きな課題となっています。

本書では、妊活コーチとして活躍し、5000 人以上の不妊体験者に接してきた松本が、自らの経験もまじえながら当事者の立場から不妊治療の現実を語り、治療に悩む人へのヒントを示しながら、「不妊治療の Happy とゴール」について読者といっしょに考えます。そして、16 名の「不妊治療、その後」の体験談から、さまざまな選択があることを示します。また、生殖医療の第一線で活躍する専門家による治療の現状や心理状態、やめどきの考え方などを紹介。

「多くの人が直面する悩みやつらさ、不安を少しでも減らすヒントになれば幸いです」(松本亜樹子)

【**専門家からのメッセージ**】

産婦人科医／吉村泰典先生 (慶應義塾大学名誉教授、一般社団法人吉村やすのり生命の環境研究所 代表理事)

胚培養士／福永憲隆氏 (医療法人浅田レディースクリニック 培養研究部部長)

看護師／村上貴美子氏 (蔵本ウイメンズクリニック 看護師長・不妊症看護認定看護師)

心理士／平山史朗氏 (東京 HART クリニック 臨床心理士／生殖心理カウンセラー)

\*本の紹介 URL : <http://j-fine.jp/book/funin.html>

※出版記念イベントを 1 月 17 日(日)都内にて開催。ゲスト・平山史朗氏の講演&松本とのトークセッションなど。

## **NPO 法人 Fine これまでの活動(抜粋)**

### ◎日本初! eラーニングによる「不妊ピア・カウンセラー養成講座」受講生募集中!

日本で初めて、不妊に特化した不妊ピア・カウンセラーを養成。2005年より十一期連続で開講。  
Fine 認定ピア・カウンセラーは、面接カウンセリングや電話相談、講演など、全国で活動中。

※参考: <http://j-fine.jp/e-pia/> 「Fine 認定ピア・カウンセラー紹介」 <http://j-fine.jp/peer/>

### ◎日本初! 不妊当事者団体として国会請願を実施!

不妊患者の経済的負担の軽減を求めて2007年に第1回目の国会請願を実施。

2011年5月の第4回目の国会請願では、約20,500名の署名が集まり、初めて衆議院で採択、内閣に送付されました。

2013年5月、第6回目の国会請願を行ないました。2014年、第7回目の署名活動を行ないました。

※参考: <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

### ◎『Fine 祭り』を2015年まで8年度連続で開催 ※今年も全国で開催予定 ※

来場者数は、2008年度 約500名、2009年度 約550名、2010年度 約150名、2011年度 約600名、2012年度 約400名、2013年度 約450名、2014年度 約360名、2015年度 約270名。大きなホールでの講演会や全国各地でのおしゃべり会など、毎年趣向を変えて開催しています。※参考: [http://j-fine.jp/activity/event/fine\\_matsuri.html](http://j-fine.jp/activity/event/fine_matsuri.html)

### ◎不妊に関するさまざまな調査を実施

2010年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施(回答者数/1,111名)

2012年「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート」を実施(回答者数/560名)

2012年~2013年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」を実施(回答者数/1,993名)

2014年~2015年「仕事と治療の両立についてのアンケート」を実施(回答者数/2,265名)

結果はFine ウェブサイト、学会や講演会等で発表。他にもさまざまなアンケートを実施しています。

※参考: <http://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

### ◎学会・研究会への参加・発表

2009年 ESHRE(欧州生殖医学会)患者部門にてゲストスピーカーとして発表(オランダ・アムステルダム)

2012年「第11回 iCSi(国際不妊患者団体連合)会議」を共催(京都)

2012年「第4回 ASPIRE(アジア太平洋生殖医学会)会議」にて iCSi セッションを共催(大阪)

2013年 厚生労働省「不妊に悩む方への特定治療支援事業等のあり方に関する検討会」審査員 など

### ◎媒体関係(取材協力など)

朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日本経済新聞、産経新聞、東京新聞、北海道新聞、信濃毎日新聞、中日新聞、京都新聞、西日本新聞、熊本日日新聞、神戸新聞、静岡新聞、山陽新聞、北陸中日新聞、日本海新聞、共同通信社、時事通信社他、NHK「クローズアップ現代」「首都圏ネットワーク」「あさイチ」、フジテレビ「とくダネ!」「スピーク」、日本テレビ「今日の出来事」、日本テレビG+「医療ルネッサンス」、TBS テレビ「はなまるマーケット」「いっぷく!」他、  
『週刊朝日』『AERA』『AERA with BABY』『赤ちゃんが欲しい』『文藝春秋』『Domani』『婦人公論』『週刊現代』『週刊文春』『GLOW』『VERY』『WEDGE』『妊活プレモ』他多数。

### ◎その他

JISART 施設の認定審査に患者代表審査委員として参加(2005年~現在)

~Fine 会員は約1,900名、さらにSNSも開設! 登録者約1,600名(2015年12月現在)~

**NPO 法人 Fine(ファイン)** <http://j-fine.jp/>

〒135-0042 東京都江東区木場6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~ 当りリリースについてのお問い合わせ ~

E-mail NPO 法人 Fine 広報窓口: [finekouhou@j-fine.jp](mailto:finekouhou@j-fine.jp)